

米づくりのさかんな地域③

氏名 ()

【めあて】米作りはどのように改善されてきたか調べて考えよう。

①農家の人たちは農薬や化学肥料をへらすために、どのような工夫をしているのでしょうか。教科書69ページを見て調べましょう。

<p>【農薬を減らすための工夫】 かもを水田に泳がせて、雑草や害虫を食べさせる。</p>
<p>【化学肥料を減らすための工夫】 たい肥や米ぬか、もみがらなどを化学肥料のかわりに使う。</p>

②おいしくて、病気に強い米を作るために、全国の研究所は何を行っているのでしょうか。教科書70ページを見て調べましょう。

【おいしくて病気に強い米を作るための工夫】
よい性質をもった品種をかけ合わせて、新しい品種を生み出す品種改良をしている。

③教科書71ページカ・キの資料のように、昔に比べると同じ広さでの生産量が増えたり、作業の時間が短くなったりしているのはどうしてだと思いますか。

自分の考えを書きましょう

④農業機械が広まったり、耕地整理が行われたりする前と後では、米づくりはどのように変わってでしょうか。教科書72・73ページで調べ、表に整理しよう。

農業機械	前	<p>○すべて手作業で時間がかかった。 ○田植えや稲かりは、大勢で共同作業していた。</p>
	後	<p>○作業が楽になり、作業にかかる時間も短くなった。 ○少ない人数で作業できるようになった。 ○多くの費用がかかるようになった。大けがをする危険もある。</p>
耕地整理	前	<p>○水田が小さく入り組んでいて、山に近い場所は水を引きにくく、水田を増やしにくかった。</p>
	後	<p>○水田の形が長方形に広く整えられ、大型の機械が使えるようになった。 ○用水路と排水路が整備され、水を必要な量だけ水田に入れられるようになった。</p>

⑤これまで安全でおいしい米を作る農家の人たちの取り組みを学習してきました。ここまでのふり返しを書きましょう。

自分の考えを書きましょう